



近代の東本願寺道 と北海道

2019年度
夏季企画展

開教と開拓

2019 **6/9** 日 ~ **7/27** 土

休館日 日曜日・月曜日(ただし6/9 日・7/14 日は開館、8/3 土~4 日は特別開館)

開館時間 午前10時~午後5時(入館は閉館の30分前まで)

観覧料 無料

大谷大学博物館

Otani University Museum

蝦夷圏境輿地全図(部分)、東本願寺蝦夷地開拓之図(部分)



2019年度夏季企画展

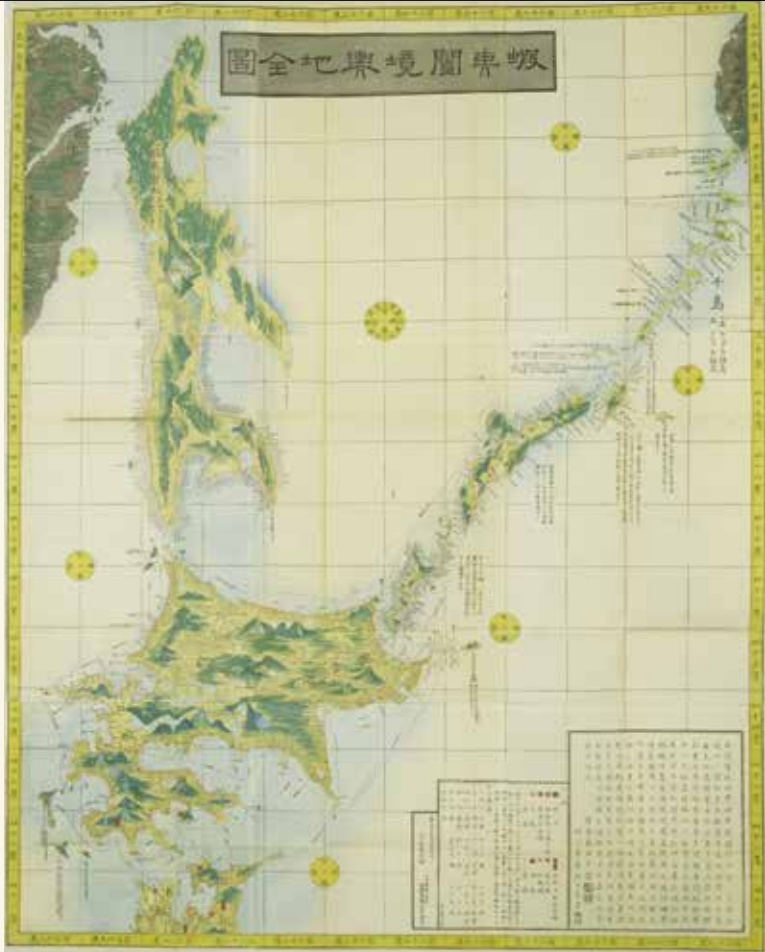
近代の東本願寺 と北海道 開教と開拓

明治2年(1869)、東本願寺が北海道の開教・開拓を明治新政府に願い出してから、2019年で150年を迎えます。また探検家で開拓判官であった松浦武四郎の提案によって蝦夷地が「北海道」と命名されてから、150年の節目の年でもあります。

江戸時代には幕府と親密な関係にあった東本願寺でしたが、維新後は、新政府との信頼関係を構築することを求められました。そこで、当時法嗣であった現如上人を中心に、新道切開・移民奨励・教化普及の3つの方針を立て、新政府に対して開教・開拓事業に名乗りをあげたのです。

そして、札幌一尾去別間を結ぶ「本願寺道路」開削などを行い開拓事業の進展を支えたのです。しかしその一方で、先住民であるアイヌの人々に対する国家の同化政策を担ったという側面もありました。

本展覧会では、急速に近代化が進む明治初期における、東本願寺と北海道の関わりについて、開教・開拓、そして同化政策への協力という側面も含めて紹介いたします。



1



4



3



5



2

- 1 蝦夷地開闢全圖
- 2 東本願寺蝦夷地開拓之図
- 3 石狩日誌
- 4 知床日誌
- 5 天塩日誌

京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto

大谷大学博物館

Otani University Museum

〒603-8143 京都市北区小山上総町 響流館1F

Tel.075-411-8483 Fax.075-411-8146

http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/

- 地下鉄烏丸線「北大路」下車、6番出口すぐ
- 市バス「北大路バスターミナル」、「下総町」、「烏丸北大路」下車
- 駐車場はございませんので、お車での来館はご遠慮ください。
ただし、身障者用の車の場合は事前にご連絡ください。



次回展覧会〈予定〉

秋季企画展

大谷大学博物館の逸品

重要文化財『選択本願念仏集』

[実習生展 併催]

2019年9月3日(火)ー9月21日(土)